

## 北ア広域新ごみ処理施設計画 河川調査で住民監査請求

北アルプス広域連合が白馬村飯森を候補地とした新ごみ処理施設計画で、同連合による候補地周辺での河川調査実施に対し、同村の有志でつくる「白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会」は7日、住民監査請求書を提出した。調査に対する住民合意や必要性の有無を指摘し、同連合監査委員に必要な措置を求めた。

請求書によると、河川調査を生活環境影響調査として行なうことに対し、説明した住民合意の無いこと、河川調査の必要性や効果が十分に検討されていない点や予算の目的外使用による不当・不法な支出などがあるとして、従来の広域側の説明に対する食い違いを指摘した。

同連合では、当初予算の調査委託料から157万円余を充てて、隣接する姫川河川敷で行う方針を決めている。実施時期は、河川の使用許可後に行われるため、現段階では年明けごろと見られている。

監査結果は、60日以内に住民側に報告される。同連合を訪れた連絡協議会の中村敬副会長は「(ごみの)計画自体が住民をあざむいている。住民合意が無いまま進めるのは、決して認めることはできない」と話した。